

第11回 ★毎月第2金曜日(休館日の場合はその前日)更新★

物理 化学 地学 生物

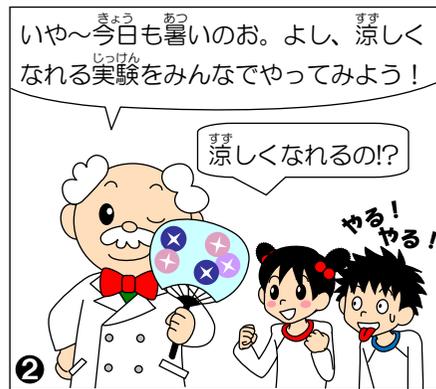
家でできる実験シリーズ!

お湯で涼しくなろう!?

8/19・20の2日間、福岡市中央区にある「FUKUOKA growth next」(大名小学校跡地)で開催される「ワークショップコレクションin福岡2017」に、何と英進館も参加するのじゃ!是非遊びに来て欲しいのお!内容をちょっとだけ紹介するぞ!



英進長寿之介 博士



注意

この実験では熱いお湯を使います。やけどをしないよう、必ず大人の人と一緒に実験するようにしましょう。

準備するもの

- お湯をわかすもの(ヤカンなど)
- 温度計(100℃まで計れるもの ※体温計だと熱湯で壊れる恐れがあります)
- きり吹き

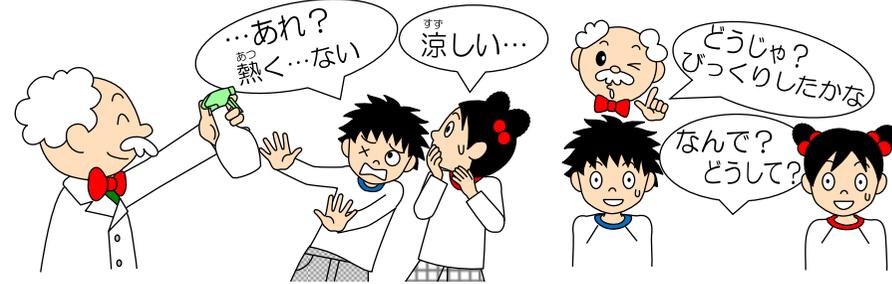
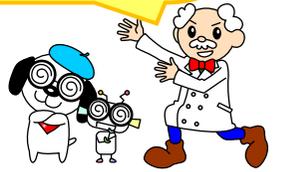
実験方法

70~85℃に沸かしたお湯を、きり吹きに移します。きり吹きをシュッと吹き、きりになったところに手を出してみると…?



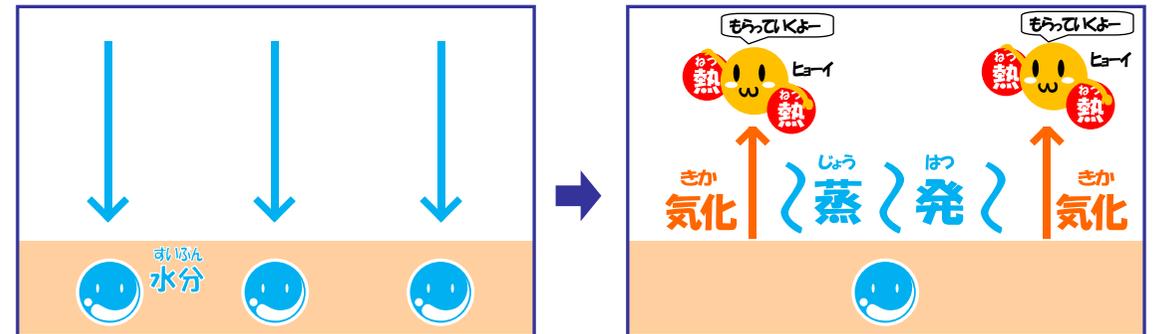
英進館

この実験のポイントは「気化熱」じゃ!



★ どうして熱くないの!? ~気化熱とは?~ ★

熱いお湯が冷たく感じたのは、気化熱が奪われたからです。気化熱とは、水などの液体が蒸発して気体になるときに周りから吸収する熱のことです。細かいきりになったお湯は、気体に変化(気化)しやすくなります。そのときに周りの熱が奪われるので、水が冷たく感じるのです。



汗をかいたときや風呂上りに風に当たると涼しく感じたり、注射の消毒でアルコールをぬったところが冷たく感じたりするのも、同じ原理によるものです。アルコールは水よりも蒸発しやすいため、ぬった瞬間から気化熱が奪われるのです。また、夏の暑い日に庭や道路に水をまく「打ち水」や、大きなデパートや公園などで最近よく見られる「ミストシャワー」も、この気化熱を利用したものです。

みんなの身の回りの「気化熱の利用」を探してみよう!

よくできました! いえじつ!

理科が好きになる・得意になる! *理科実験教室のご案内*

~英進館にお通いでない方の参加も大歓迎ですので、お気軽にお問い合わせ下さい!(小学生対象)~

☆☆☆ 英進館理科実験教室 6つの特徴 ☆☆☆		
①29年の信頼と実績! 昭和63年にスタートしました!	②専用の実験設備・器材 塾としては西日本初の 本格的理科実験室を完備!	③こだわりの独自カリキュラム・教材 実験内容、キャラクター、テキスト等、 すべて英進館オリジナル!
④中学入試問題にも対応 中学入試では、理科の問題の約7割が 実験・観察の問題です。	⑤「楽しい!」+αの身につく力 学習意欲・考える力・確かな学力・ 協調性・表現力を育てます。	⑥ポイントを集めて景品と交換 おまけ要素も授業を受ける 楽しみにつながります♪

最新情報をHPでチェック!

<http://www.eishinkan.net/>

英進館

検索